



2019年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社PLANT

上場取引所 東

コード番号 7646 URL <https://www.plant-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三ッ田 佳史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山田 准司

TEL 0776-72-0300

定時株主総会開催予定日 2019年12月19日

有価証券報告書提出予定日 2019年12月19日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期の業績(2018年9月21日～2019年9月20日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	92,146	3.8	7	99.4	30	97.6	3,903	
2018年9月期	88,804	2.1	1,185	9.9	1,276	10.2	2,795	1,251.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年9月期	482.69		24.8	0.1	0.0
2018年9月期	345.55		16.8	3.4	1.3

(参考) 持分法投資損益 2019年9月期 百万円 2018年9月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	40,544	13,643	33.7	1,687.58
2018年9月期	38,259	17,884	46.7	2,210.76

(参考) 自己資本 2019年9月期 13,643百万円 2018年9月期 17,884百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年9月期	1,492	6,057	5,126	4,874
2018年9月期	4,660	2,367	2,431	7,298

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年9月期		20.00		20.00	40.00	323	11.6	1.9
2019年9月期		20.00		0.00	20.00	161		1.0
2020年9月期(予想)		0.00		3.00	3.00		34.7	

3. 2020年9月期の業績予想(2019年9月21日～2020年9月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	6.1	50	67.3	50	78.9	35		4.33
通期	94,000	2.0	100		100	233.3	70		8.66

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期	8,090,000 株	2018年9月期	8,090,000 株
期末自己株式数	2019年9月期	5,245 株	2018年9月期	242 株
期中平均株式数	2019年9月期	8,085,975 株	2018年9月期	8,089,770 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当事業年度(自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、穏やかな景気回復基調が続くことが期待されるものの、米中貿易摩擦や英国のEU離脱をはじめとする国際情勢の不安定さ、国内における相次ぐ記録的な自然災害等から先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、消費者の節約志向が依然として続く中、消費税増税を控え消費マインドの一層の慎重化や業界の垣根を越えた競争の激化及び困難な状況が続く人材の確保等、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社では中長期経営方針である「スーパーセンター業態の社会的認知の実現」を遂行すべく、「企業規模拡大」「店舗運営力向上」「商品力向上」3つの成長戦略を掲げ取り組みを行っております。

当事業年度においては、「企業規模拡大」として三重県伊賀市に伊賀店、滋賀県高島市に滋賀県初出店となる高島店、京都府木津川市に木津川店、島根県出雲市に出雲店を出店し、当社店舗は合計14府県26店舗となりました。「商品力向上」といたしましては、当社直営のハンバーガーコーナー「JJ BURGER」を伊賀店、高島店、木津川店、出雲店の新店4店舗に導入し、既存店と併せ合計8店舗での運営となりました。高島店、木津川店においては、新たな取り組みとしてグローサリットにもチャレンジしております。また300円ショップ「trecento(トレチェント)」も、大玉店、瑞穂店、清水店、高島店、木津川店、出雲店、見附店の7店舗へ導入いたしました。

また、第2四半期会計期間に、淡路店、斐川店及び伊賀店の固定資産残簿価の全額を減損処理し、特別損失3,169百万円を計上しました。

以上の結果、当事業年度における経営成績は、売上高は92,146百万円と前事業年度比3.8%増となりました。利益におきましては、営業利益は7百万円(前年同期比99.4%減)、経常利益は30百万円(前年同期比97.6%減)、当期純損失は3,903百万円(前年同期は当期純利益2,795百万円)となりました。

なお、当社は、フーズ、ノンフーズ等の小売業という単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産合計は、40,544百万円(前年同期比2,285百万円増)となりました。これは主に、有形固定資産の増加(前年同期比2,592百万円増)によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、26,900百万円(前年同期比6,526百万円増)となりました。これは主に、長期借入金の増加(前年同期比5,807百万円増)によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は、13,643百万円(前年同期比4,240百万円減)となりました。これは主に、当期純損失が3,903百万円となり、剰余金の配当が323百万円あったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ2,424百万円減少し、4,874百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動の結果使用した資金は1,492百万円（前年同期4,660百万円の獲得）となりました。これは主に、税引前当期純損失3,138百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は6,057百万円（前年同期2,367百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5,571百万円（前年同期2,464百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において財務活動の結果得られた資金は5,126百万円（前年同期2,431百万円の使用）となりました。これは、長期借入による収入6,200百万円があったことによるものであります。

（キャッシュ・フロー関連指標の推移）

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期
自己資本比率(%)	40.5	41.1	46.7	33.7
時価ベースの自己資本比率(%)	24.7	28.8	26.9	14.6
債務償還年数(年)	4.1	2.6	0.9	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	14.3	21.0	54.2	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注1）株式時価総額は、期末株価×期末発行済株式数により算出しています。

（注2）有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債の内、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（注3）営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

（注4）利払いは、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（注5）2019年9月期の債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、我が国の景気は穏やかな回復傾向が続くものと思われませんが、依然として個人消費は力強さを欠き、小売業界におきましては、消費者の節約志向は根強く、また競争の激化により経営環境は厳しさを増すものと予想しております。

第39期（2020年9月期）につきましては、早期に収益改善を図るべく、既存店については、ローコストオペレーションの再構築を図り、新店においては早期黒字化の為、売場修正と生産性向上を図ります。

マーケティング戦略としましては、当社の強みである「安さ」を再構築し、競合他社との差別化を図ってまいります。また本部組織改革によりPBを強化し、新規顧客の獲得と粗利改善に努めてまいります。

以上のことから、2020年9月期の業績見通しといたしましては、売上高94,000百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益100百万円（前年同期比1,328.6%増）、経常利益100百万円（前年同期比233.3%増）、当期純利益70百万円（前年同期は当期純損失3,903百万円）を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位 : 百万円)

	前事業年度 (2018年9月20日)	当事業年度 (2019年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,298	5,674
売掛金	430	976
リース投資資産	24	26
商品	7,260	8,285
貯蔵品	16	28
未収還付法人税等	—	184
その他	678	1,222
流動資産合計	16,709	16,398
固定資産		
有形固定資産		
建物	19,848	22,910
減価償却累計額	△12,350	△12,932
建物 (純額)	7,498	9,977
構築物	2,839	3,615
減価償却累計額	△2,147	△2,252
構築物 (純額)	692	1,362
機械及び装置	186	269
減価償却累計額	△58	△82
機械及び装置 (純額)	127	186
車両運搬具	70	78
減価償却累計額	△62	△66
車両運搬具 (純額)	8	12
工具、器具及び備品	1,254	1,327
減価償却累計額	△910	△976
工具、器具及び備品 (純額)	343	351
土地	5,327	5,327
リース資産	1,397	2,366
減価償却累計額	△790	△1,021
リース資産 (純額)	606	1,345
建設仮勘定	1,914	547
有形固定資産合計	16,519	19,111
無形固定資産		
借地権	1,143	1,266
ソフトウェア	67	65
その他	7	6
無形固定資産合計	1,218	1,338
投資その他の資産		
投資有価証券	35	25
リース投資資産	254	227
長期前払費用	104	124
繰延税金資産	1,402	686
敷金及び保証金	1,976	2,608
その他	37	23
投資その他の資産合計	3,812	3,696
固定資産合計	21,549	24,146
資産合計	38,259	40,544

(単位 : 百万円)

	前事業年度 (2018年9月20日)	当事業年度 (2019年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	36	26
電子記録債務	1,310	964
買掛金	6,078	6,462
1年内返済予定の長期借入金	392	392
リース債務	230	402
未払金	1,119	707
未払費用	988	1,107
未払法人税等	269	48
賞与引当金	531	439
その他	386	203
流動負債合計	11,343	10,756
固定負債		
長期借入金	3,600	9,407
リース債務	440	1,231
退職給付引当金	1,463	1,513
長期未払金	748	460
長期預り敷金保証金	437	407
資産除去債務	2,340	3,058
損害補償損失引当金	—	65
固定負債合計	9,031	16,144
負債合計	20,374	26,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,425	1,425
資本剰余金		
資本準備金	1,585	1,585
資本剰余金合計	1,585	1,585
利益剰余金		
利益準備金	257	257
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	1,837	1,803
別途積立金	3,141	3,141
繰越利益剰余金	9,638	5,446
利益剰余金合計	14,875	10,648
自己株式	△0	△0
株主資本合計	17,886	13,659
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△15
評価・換算差額等合計	△1	△15
純資産合計	17,884	13,643
負債純資産合計	38,259	40,544

(2) 損益計算書

(単位 : 百万円)

	前事業年度 (自 2017年9月21日 至 2018年9月20日)	当事業年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)
売上高		
商品売上高	88,468	91,803
不動産賃貸収入	335	343
売上高合計	88,804	92,146
売上原価		
商品期首たな卸高	7,045	7,260
当期商品仕入高	71,346	74,745
合計	78,392	82,006
商品期末たな卸高	7,260	8,285
商品売上原価	71,132	73,720
不動産賃貸原価	65	67
売上原価合計	71,197	73,787
売上総利益	17,607	18,358
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	7,469	8,412
賞与引当金繰入額	531	439
退職給付費用	150	112
減価償却費	914	1,095
その他	7,355	8,291
販売費及び一般管理費合計	16,421	18,351
営業利益	1,185	7
営業外収益		
受取利息及び配当金	12	13
受取手数料	123	133
助成金収入	71	65
受取保険金	33	16
雑収入	21	46
営業外収益合計	263	275
営業外費用		
支払利息	79	93
シンジケートローン手数料	72	—
固定資産除却損	—	79
損害補償損失引当金繰入額	—	65
雑損失	20	14
営業外費用合計	172	252
経常利益	1,276	30
特別利益		
受取損害賠償金	58	—
受取補償金	2,622	—
資産除去債務戻入益	160	—
特別利益合計	2,841	—
特別損失		
減損損失	—	3,169
特別損失合計	—	3,169
税引前当期純利益	4,117	△3,138
法人税、住民税及び事業税	473	48
法人税等調整額	847	715
法人税等合計	1,321	764
当期純利益	2,795	△3,903

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2017年9月21日 至 2018年9月20日)

(単位 : 百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余 金合計		
				固定資産 圧縮積立 金	別途積立 金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	1,425	1,585	257	78	3,141	8,925	12,403	△0	15,414
当期変動額									
自己株式の取得								△0	△0
固定資産圧縮積立金の積立				1,769		△1,769	—		—
固定資産圧縮積立金の取崩				△10		10	—		—
剰余金の配当						△323	△323		△323
当期純利益						2,795	2,795		2,795
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	—	—	—	1,758	—	712	2,471	△0	2,471
当期末残高	1,425	1,585	257	1,837	3,141	9,638	14,875	△0	17,886

	評価・換 算差額等	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	
当期首残高	3	15,417
当期変動額		
自己株式の取得		△0
固定資産圧縮積立金の積立		—
固定資産圧縮積立金の取崩		—
剰余金の配当		△323
当期純利益		2,795
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△4	△4
当期変動額合計	△4	2,467
当期末残高	△1	17,884

株式会社 P L A N T (7646) 2019年9月期決算短信 [日本基準] (非連結)

当事業年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)

(単位 : 百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				利益剰余 金合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金						
				固定資産 圧縮積立 金	別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	1,425	1,585	257	1,837	3,141	9,638	14,875	△0	17,886	
当期変動額										
自己株式の取得								△0	△0	
固定資産圧縮積立金の 取崩				△34		34	—		—	
剰余金の配当						△323	△323		△323	
当期純利益						△3,903	△3,903		△3,903	
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)										
当期変動額合計	—	—	—	△34	—	△4,192	△4,226	△0	△4,226	
当期末残高	1,425	1,585	257	1,803	3,141	5,446	10,648	△0	13,659	

	評価・換 算差額等	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	
当期首残高	△1	17,884
当期変動額		
自己株式の取得		△0
固定資産圧縮積立金の 取崩		—
剰余金の配当		△323
当期純利益		△3,903
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△14	△14
当期変動額合計	△14	△4,240
当期末残高	△15	13,643

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 百万円)

	前事業年度 (自 2017年9月21日 至 2018年9月20日)	当事業年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	4,117	△3,138
減価償却費	922	1,103
長期前払費用償却額	3	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	27	△92
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	71	49
損害補償損失引当金の増減額 (△は減少)	—	65
減損損失	—	3,169
受取利息及び受取配当金	△12	△13
支払利息	79	93
受取損害賠償金	△58	—
受取補償金	△2,622	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△33	△545
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△213	△1,037
仕入債務の増減額 (△は減少)	145	29
未払消費税等の増減額 (△は減少)	117	△255
その他	△162	△585
小計	2,381	△1,155
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△86	△89
法人税等の支払額	△340	△248
補償金の受取額	2,646	—
損害賠償金の受取額	58	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,660	△1,492
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,425	△1,600
定期預金の払戻による収入	2,550	1,800
有形固定資産の取得による支出	△2,464	△5,571
無形固定資産の取得による支出	△41	△24
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
敷金及び保証金の差入による支出	△49	△701
敷金及び保証金の回収による収入	67	66
その他	△0	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,367	△6,057
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,000	6,200
長期借入金の返済による支出	△4,827	△392
配当金の支払額	△323	△322
その他	△281	△357
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,431	5,126
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△138	△2,424
現金及び現金同等物の期首残高	7,437	7,298
現金及び現金同等物の期末残高	7,298	4,874

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は、関連会社がないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、フーズ、ノンフーズ等の小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2017年 9 月 21 日 至 2018年 9 月 20 日)	当事業年度 (自 2018年 9 月 21 日 至 2019年 9 月 20 日)
1 株当たり純資産額 (円)	2, 210. 76	1, 687. 58
1 株当たり当期純利益又は 1 株当たり 当期純損失 (△) (円)	345. 55	△ 482. 69

(注) 1. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1 株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度末 (2018年 9 月 20 日)	当事業年度末 (2019年 9 月 20 日)
純資産の部の合計額 (百万円)	17, 884	13, 643
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	17, 884	13, 643
期末の普通株式の数 (株)	8, 089, 758	8, 084, 755

(注) 3. 1 株当たり当期純利益又は 1 株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2017年 9 月 21 日 至 2018年 9 月 20 日)	当事業年度 (自 2018年 9 月 21 日 至 2019年 9 月 20 日)
当期純利益又は当期純損失 (△) (百万円)	2, 795	△ 3, 903
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失 (△) (百万円)	2, 795	△ 3, 903
期中平均株式数 (株)	8, 089, 770	8, 085, 975

(重要な後発事象)

該当事項はありません。